

英語力向上を常にめざす学生の育成に向けて

英米学科 宮浦 国江

平成 24 年度の英語教育部門の活動は、より活発な学生の参加を増やすべくいくつかの改善を試みた。また、今年度は全学的に、第二期中期計画の策定や外国語学部の「グローバル人材育成推進事業」の採択に伴って、外国語学習及び学習支援についても新たな胎動の感じられる年となった。具体的には、外国語学部による英語力到達目標値の設定、TOEIC テスト一斉受験、iCoToba(多言語学習センター)開設と5言語ネイティブ教員6名の採用など、学生の外国語学習を促進する環境が急速に整いつつある。その中で学生が英語力向上を常にめざしていけるよう、そして英語力が着実に向上するよう、カリキュラム内外での学習支援が一層大事になる。その礎となる今年度の活動をふりかえる。

1. カリキュラム内

1.1 英語統一テスト

平成 21 年度以降実施されている CASEC による英語統一テストは、今年度も学年暦に予め記載され、外国語科目小委員会が責任をもち、学務課がフルサポートする形で着実に実施された。

4月6日(金) 新入生全員受験 全受験者数 名。学科専攻別に C217、C218、H204、H205 の4室を利用して9:50～11:00、11:10～12:30、13:30～14:50、14:50～16:10 で実施され、その結果は、全学共通科目「英語 I」、及び英米学科、国際関係学科の専攻言語科目のクラス分けに利用された。

後期は、1月9日(水)、16日(水)の午後に実施され、全学共通科目「英語 IB」及び「英語 IIB」の全クラス、英米学科1年生及び2年生、国際関係学科1年生及び2年生が受験した。「英語 IB」「英語 IIB」の後期成績評価に使われるだけでなく、1年生の成績は来年度の「英語 II」のクラス分けに利用される。

CASEC による統一テストの結果は、毎回学内に公表しているが、特に今年度は、次期中期計画やグローバル人材育成推進事業での到達目標値設定の資料としても使われた。本稿末尾に今年度開示した昨年度1月期、今年度4月期の統一テストの結果を載せる。

1.2 英語連続セミナー 第6シリーズ

今年度も全学共通科目「特別講義 A」として「グローバルな視野とコミュニケーションのための英語連続セミナーVI」を開講した。6年目の今年は以下のプログラムで行った。

	Date	Lecturer	Title of the Talk
1	10/4	Coordinators	Introduction
2	10/11	Joannah Peterson (名古屋大学 大学院生)	Looking in on the World of the Shining Prince: Classical Japanese

			Literature and Language Education in the U.S.
3	10/18	Stephen Wheeler (名古屋アメリカンセンター館長)	Immigration throughout U.S. History
4	10/25	Christian Otchia (名古屋大学大学院生)	Shortcuts for Increasing Persuasive Communication Skills in English
5	11/8	Mick Corliss (Communications consultant)	Found in Translation
6	11/15	佐々久美子 (ジェンテックス・ジャパン株式会社エンジニアリングコーディネーター)	Career Path
7	11/22	Marian Kinoshita (President, MDK Translations, Inc. / 日本翻訳協会理事)	The Simpler the Japanese, the Harder the Translation!
8	11/29	安原雅之 (愛知県立芸術大学音楽学部准教授)	An Inquiry into Russian Music
9	12/6	山本良一 (関西大学高等部)	English Lessons Based on the Integration of the Four Skills
10	12/13	Alice Gordenker (journalist)	My Foreign Adventure: Japan
11	12/20	Ryan Arrigan (愛知県庁国際課)	Growing Up in the Universe
12	12/27	Eric Hankin (愛知教育大学非常勤講師)	TBA
13	1/10	Michael Kushell (愛知県立大学研究生)	Rural Kabuki and Mutual Understanding: Lessons Learned from a Fulbright Year in Japan
14	1/17	満菌めぐみ (同時通訳者)	Interpreter as a Profession
15	1/24	Coordinators	Discussion

- ・今年度は、Brett Cumming 先生にコーディネータを務めて頂いた。英米学科の外国人教員がコーディネータをするのは初めてである。ネイティブ教員による司会は、学生にとっても一層刺激的であったようだ。
- ・今年は、最初のゲストスピーカーを迎えた回から、質疑応答の時間になると多くの手が挙がった。その後も毎回、質問が全く途切れず、常にエッセイを書く時間を確保するために質問を切り上げるような状況が続いている。一つには Cumming 先生登場のお陰であろう。あるいは、高校までの英語教育が確実にコミュニケーション重視にシフトしたことの影響であろうか。臆せず英語で質問する学生が確実に増えている。
- ・同時に、毎週学生が書く英文エッセイは長いものが多い。以前もエッセイを A5 サイズの用紙一杯に書く学生は少なからずいたが、今年もその傾向は強まっている。ただし、やや文法面では不注意なミスが多い気がする。それも高校までの英語教育でコミュニケーション実践に力を

入れる一方、文法についてはあまり注意を払わなくなっているのであろうか。

・講師陣は、Cumming 先生が知人の Mick Corliss 氏、Marian Kinoshita 氏、Alice Gordenker 氏を招いて下さったこともあり、外国人講師が 9 名と過去最多であった。毎年 13 名の講師を決定するまでが大変であるが、学内の先生、学務課職員の方などからいろいろとご紹介頂き、今年度も多彩な講師による多彩なテーマでのご講演をそろえることができた。改めて感謝する次第である。

・学生たちがこの授業について英語を使う貴重な機会と考えているということを何人かの教員から聞いた。やっ、英語を単なる教科としてではなく、コミュニケーションのためのツールとして実際に使うものとする学生が増えてきているのかもしれない。そのような学生にとって、90 分×週 2 回の授業を補い、時には講師の魅力、講演内容の濃さによってコミュニケーションの醍醐味を味わえる機会となっているのではないだろうか。

2 カリキュラム外

2.1 ENGLISH SPACE—英語多読・シャドウイング・英会話で英語力アップ

・昨年度来室者数があまり伸びず、何とか対策を立てなくてはと思い、今年度いろいろと新たな試みをした。まず、長らく使わせて頂いた図書館グループ研究室から講義棟 LL 教室へと場所を変えた。これは、昨年来、「英語お楽しみ/お助け部屋」として機能させたいと思い、多読用図書付属 CD を用いてのシャドウイング(聞こえた英語を順次、自分も声に出していくという通訳の訓練法)やアシスタントとの英会話を奨励するようになっていたため、図書館の静謐な環境を乱してはいけないと考えてのことである。同時に、英語学習の有効な手段としてシャドウイングに力を入れたい思い、また G 棟 202 の 30 人用 LL 教室の機器が更新されたこともあり、ここを新たな活動場所とさせて頂いた。図書館にはこれまで様々な点で便宜を図って頂いた。ここで改めて感謝の意を表したい。

・開室日は、昨年までは週 1 回 3 時間 (水曜日 12 時 30 分～15 時 30 分)であったが、今年度は週 2 回各 2 時間 (月曜日 12 時 15 分～14 時 15 分、水曜日 12 時 30 分～14 時 30 分)の開室とした。1 回の開室時間は短くし、むしろ回数を増やすこととした。

・今年度前期の第 1 回目には、宮浦がシャドウイングについてのミニレクチャーを行った。シャドウイングの効用、実際のやり方を講義し、実習を行った。その後も毎回開室後に参加者全員でシャドウイングを行うようにした。この様子は、外国語学部紹介パンフレットにも載った。

・6 月 20 日の ENGLISH SPACE 活動日には、教育測定研究所の協力を得て、CASEC 受験と CASEC を英語学習に行かすアドバイスをお話して頂いた。20 名近い参加者があった。

・このように様々な改善を試みたが、参加者数は前期 83 名、後期(1 月 9 日現在で)75 名である。昨年度は前後期あわせて 119 名であったので、すでに約 40 名の増加であるが、まだまだ活況と呼べる状況からはほど遠い。

・学生アシスタントは、昨年度から ENGLISH SPACE をよく利用していた英米学科 2 年生を中心に 7 名も集まり、自分たちでシフトも決めたり、運営のほとんどすべてを自主的に行ってくれた。宮浦が学生支援センター長として多忙のため、ほとんど一緒に活動することができず、彼女たちがいなければ今年の ENGLISH SPACE は成り立たなかったであろう。感謝する次第である。

・学生アシスタントも、ENGLISH SPACE の認知度を上げることを課題と感じており、県大出版

会の発行する雑誌『aps!』第5号で「What's “多読”?」という記事を掲載してくれた。ユニパによるアナウンス、学内掲示、教員へのチラシ配布の他は口コミに頼る状況ではあるが、今後も地道に学生の参加を増やしていきたい。

・学生アシスタントによると、わずかではあるが毎週必ず参加する学生がおり、シャドウイングを熱心に続けている。次第にアシスタントと交わす英語の量が増えてきているようだ。またここでの英語学習がきっかけになり春季留学に行くことになったようで、アシスタントとしても活動の意義が感じられたとのことであった。

・参加する学生は必ずしも英米学科が多いわけではないようで、むしろ他学科他学部の学生が熱心に通ってくるようである。看護学部の学生の関心度、参加度は以前から高く、今年もほぼ毎週通ってくる学生は看護学部生で、来年度から使えないことを残念がっていたとのことである。

・来年度以降、グローバル人材育成推進事業による外国語自主学習のスペースができ、ネイティブ教員も常駐の予定となった。これまでの ENGLISH SPACE とどのように噛み合わせていくのか、学生本意の観点を貫きつつ道を探っていきたい。

「英語をすらすら読もう」が楽しくなって
Activeな英語力アップのための時間になります

ENGLISH SPACE

英語をもっと楽しみたい人、英語をもっと聞けて話せるようになりたい人は誰でも自由に参加できます

ENGLISH SPACEは「英語力アップをめざすための「聴トレ」ルーム」活動内容

- ★多読図書付録CDを使ってシャドウイング
- ★CASECテストで英語力チェック
- ★今までどおり多読用図書で「英語をすらすら読もう」
- ★アシスタントと英語でおしゃべり
- ★アシスタントに英語の勉強で困っていることを相談

「英語をすらすら読もう」

- 一人一人に聴取記録ファイルを用意します。累計冊数も記録して、在学中に30万冊読破を目指しましょう。
- 200冊読むだけで読者のレベルが約、3000冊のレベルまで、約800冊用意しています。世界の文化、有名な史記、最新の科学などジャンルも多岐です。興味のある本からまずは取り寄せたい本を選んでください。
- もちろん、いつでも参加できます！「聴取の手引き」に従って利用して下さい。

★2012年度前期の開催予定★

場所: G202 (G棟2階LL教室)
日時: 月曜日 12:15 ~ 14:15
水曜日 12:30 ~ 14:30

6月	(月) 11日, 18日, 25日 (水) 13日, 20日, 27日
7月	(月) 2日, 9日, 16日 (水) 4日, 11日, 18日

※6月11日のOvernight, Shadowing, Listening Towerより30分実用英語200冊、CASECテストも多読図書へのサービスも追加です。

※今までに借りた本を返していただいている人は、CASECの追加ボックスに返却をお願いします。

※多読図書や多読用図書がなくなるとの事態を防ぐため、お申し込みは先着順です。お問い合わせ先: 英米学科 学務課 英語教育推進室 (aps@pcu.ac.jp)

「英語のできる偉人達」をめざそう

ENGLISH SPACE

英語をもっと楽しみたい人、英語をもっと聞けて話せるようになりたい人は誰でも自由に参加できます

ENGLISH SPACEは「英語力アップをめざすための「聴トレ」ルーム」活動内容

- ★多読図書付録CDを使ってシャドウイング
- ★CASECテストで英語力チェック
- ★今までどおり多読用図書で「英語をすらすら読もう」
- ★アシスタントと英語でおしゃべり
- ★アシスタントに英語の勉強で困っていることを相談

「英語をすらすら読もう」

- 一人一人に聴取記録ファイルを用意します。累計冊数も記録して、在学中に30万冊読破を目指しましょう。
- CASECテストだけでなく読者のレベルが約、3000冊のレベルまで、約800冊用意しています。世界の文化、有名な史記、最新の科学などジャンルも多岐です。興味のある本からまずは取り寄せたい本を選んでください。
- もちろん、いつでも参加できます！「聴取の手引き」に従って利用して下さい。

★2012年度後期の開催予定★

場所: G202 (G棟2階LL教室)
日時: 月曜日 12:15 ~ 14:15
水曜日 12:30 ~ 14:30

8月	(月) 13日, 20日, 27日 (水) 15日, 22日, 29日
9月	(月) 4日, 11日, 18日 (水) 6日, 13日, 20日

※8月13日のOvernight, Shadowing, Listening Towerより30分実用英語200冊、CASECテストも多読図書へのサービスも追加です。

※今までに借りた本を返していただいている人は、CASECの追加ボックスに返却をお願いします。

※多読図書や多読用図書がなくなるとの事態を防ぐため、お申し込みは先着順です。お問い合わせ先: 英米学科 学務課 英語教育推進室 (aps@pcu.ac.jp)

2.2 CASEC 自主受験

・昨年度末から、CASEC 自主受験を学生に勧めるようにしてきた。学務課前の掲示板やキャリア支援室でポスターを掲示し、学生は学務課カウンターで常時受験のてびきを受け取れることになっている。また多読活動の際にも個別に案内をした。

・これまでは毎月数名程度だった受験者が今年度は10名~27名と、増加した。また11月には146名、12月には337名が受験した。一つには、全学共通科目「英語IB」などのクラスで授業中に受験したケースもあるが、それだけではなく個人による自主受験も急速にこのところ増えているようである。グローバル人材育成推進事業でTOEICテストの一斉受験を採用したが、

その準備学習として、また自己英語力の定期的モニターとして CASEC 自主受験という形がすでにできつつあるのかもしれない。我々からも積極的に英語力の定期チェックを勧めていきたい。

2.3 多言語競演レシテーション大会

第5回となり、外国語学部の定例行事となった。昨年度から始まった前年度優秀者のオープンキャンパスでのレシテーション披露は、今年も行われ参加者に大きな感動を与えた。さらに今年は6月に愛知県体育館で行われた大規模な進学ガイダンスで、「国際力」をキーワードに大学紹介する機会にもレシテーションを行ってもらった。スピーチの時に背景として流す映像も効果的で、良質の教育の成果を示すものであったと言えよう。

以上、カリキュラム内外の英語学習及び学習支援についての状況を報告した。最初に述べた通り、外国語学部のグローバル人材育成推進事業が来年度以降本格的に展開される。英語は使えて当たり前の学生の育成に組織的に取り組むことになる。TOEIC スコアによる到達目標値も設定された。ネイティブ教員常駐の学習支援スペースもいよいよ実現する。さあ、そこを中心にどのような実りのある活動を展開していくか、我々の正念場である。これまでの蓄積を活かしながら一層の活性化に取り組みたい。

資料 1: 平成 23 年度 1 月 1 年生英語統一テスト 結果

資料 2: 平成 23 年度 1 月 2 年生英語統一テスト 結果

資料 3: 平成 24 年度 4 月 1 年生英語統一テスト 結果

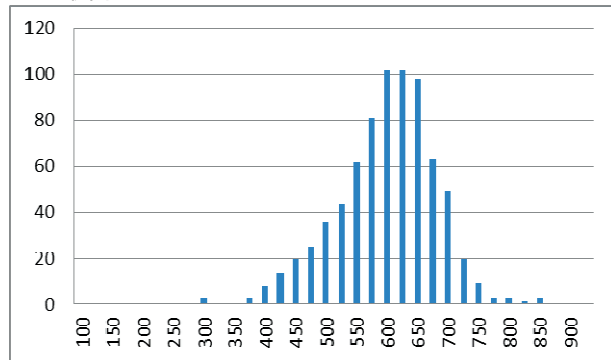
[資料 1] 平成23年度1月 1年生英語統一テスト 結果

■2012年1月 CASEC1年生 全学・学部別集計

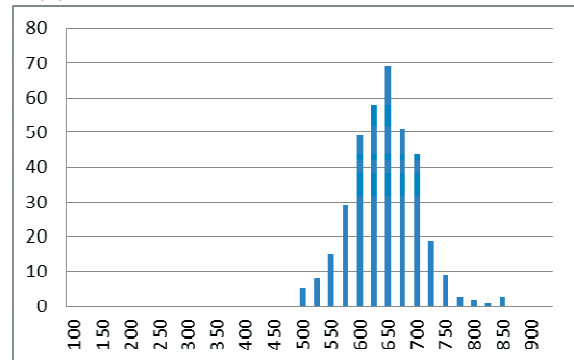
※グラフの読み方

例) totalメモリ「500」に位置する棒グラフが意味することは、「476点～500点」のスコア取得者の人数をあらわしています。

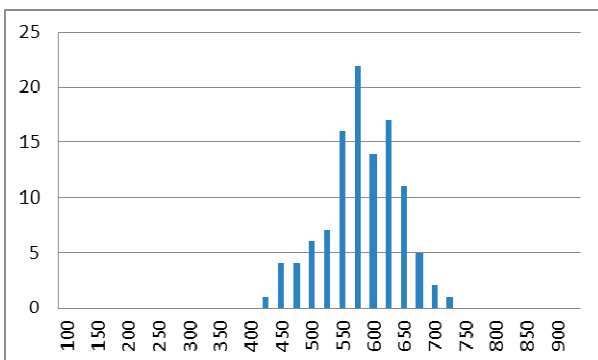
受験対象者: 1年生(全学部)
 受験者総数: 750
 平均点: 587
 最高点: 837



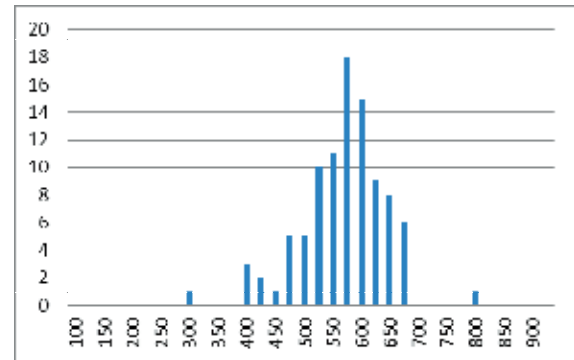
受験対象者: 外国語学部
 受験者総数: 365
 平均点: 633
 最高点: 837



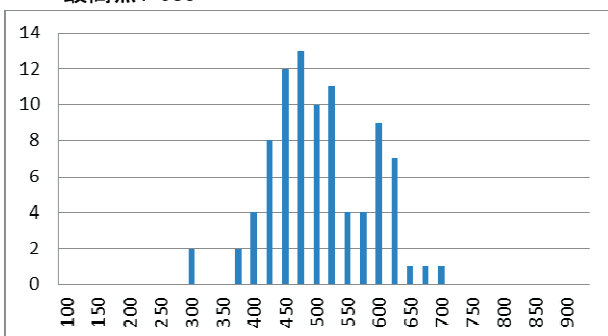
受験対象者: 日本文学学部
 受験者総数: 110
 平均点: 569
 最高点: 707



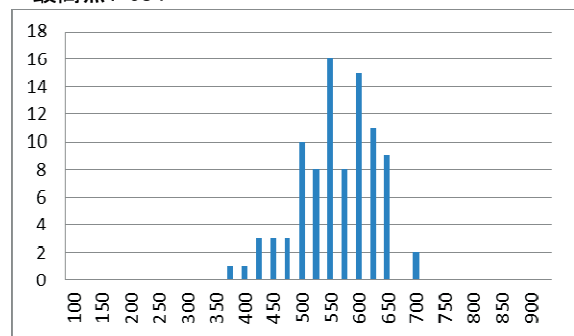
受験対象者: 教育福祉学部
 受験者総数: 95
 平均点: 557
 最高点: 800



受験対象者: 情報科学部
 受験者総数: 89
 平均点: 493
 最高点: 683



受験対象者: 看護学部
 受験者総数: 90
 平均点: 549
 最高点: 684

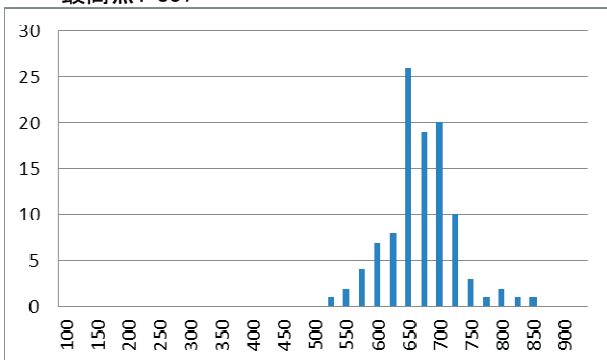


■2012年1月 CASEC1年生 外国語学部 学科・専攻別集計

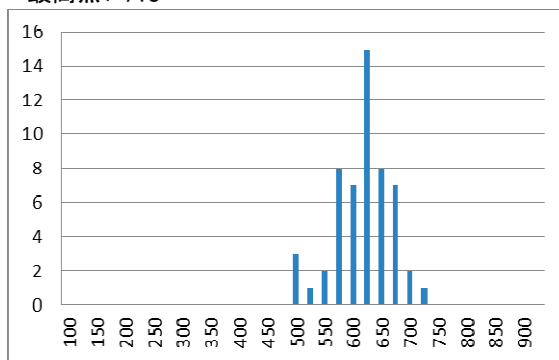
※グラフの読み方

例) totalメモリ「500」に位置する棒グラフが意味することは、「476点～500点」のスコア取得者の人数をあらわしています。

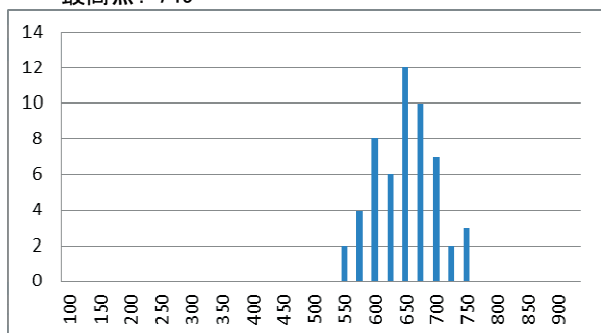
受験対象者: 英米学科
 受験者総数: 105
 平均点: 659
 最高点: 837



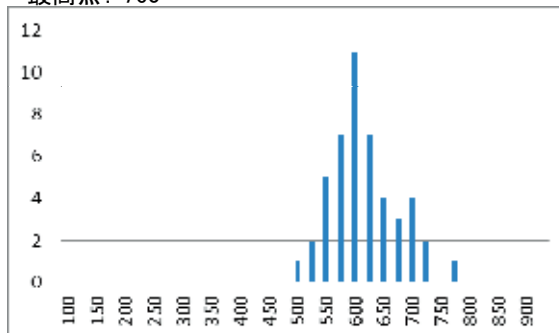
受験対象者: フランス語圏専攻
 受験者総数: 54
 平均点: 606
 最高点: 718



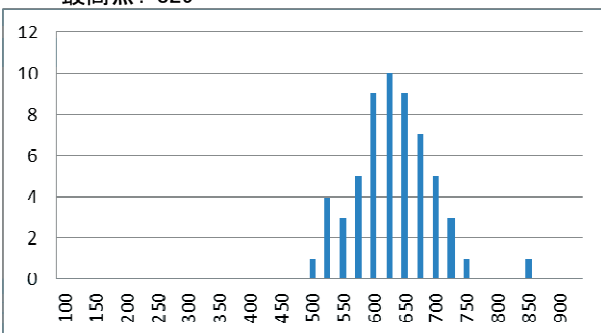
受験対象者: ドイツ語圏専攻
 受験者総数: 54
 平均点: 638
 最高点: 749



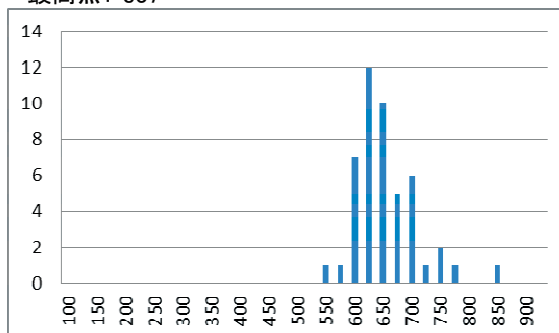
受験対象者: スペイン語圏専攻
 受験者総数: 47
 平均点: 607
 最高点: 760



受験対象者: 中国学科
 受験者総数: 58
 平均点: 620
 最高点: 829



受験対象者: 国際関係学科
 受験者総数: 47
 平均点: 644
 最高点: 837

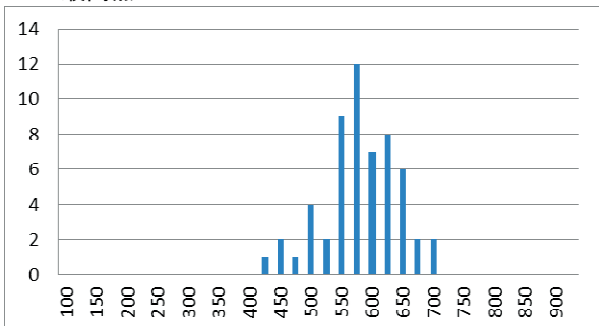


■2012年1月 CASEC1年生 日本文化学部 学科別集計

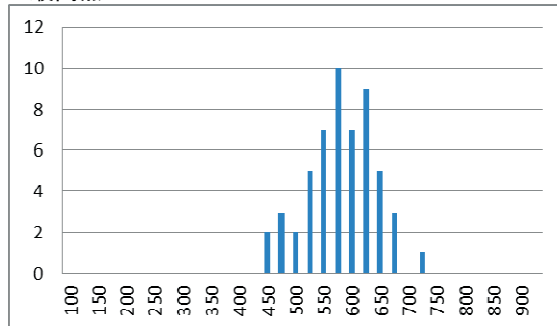
※グラフの読み方

例) totalメモリ「500」に位置する棒グラフが意味することは、「476点～500点」のスコア取得者の人数をあらわしています。

受験対象者：国語国文学科
 受験者総数：56
 平均点：570
 最高点：690



受験対象者：歴史文化学科
 受験者総数：54
 平均点：567
 最高点：707

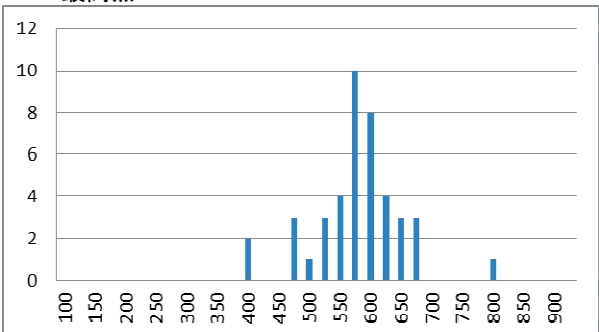


■2012年1月 CASEC1年生 教育福祉学部 学科別集計

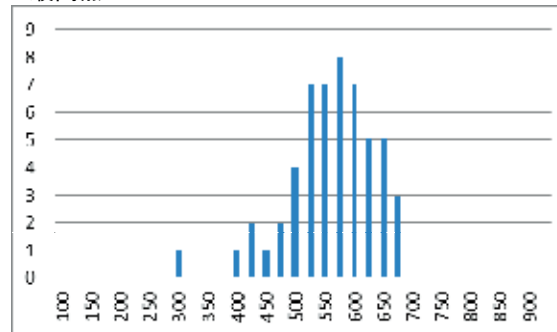
※グラフの読み方

例) totalメモリ「500」に位置する棒グラフが意味することは、「476点～500点」のスコア取得者の人数をあらわしています。

受験対象者：教育発達学科
 受験者総数：42
 平均点：567
 最高点：800



受験対象者：社会福祉学科
 受験者総数：53
 平均点：549
 最高点：674



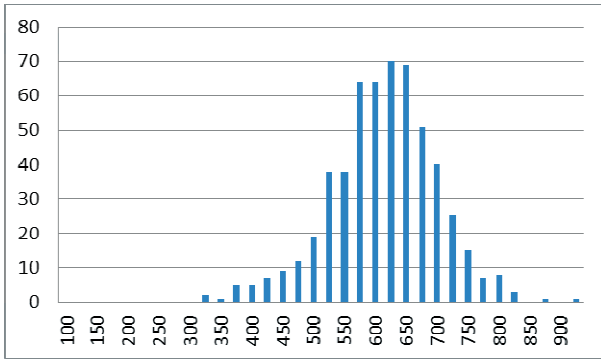
[資料 2] 平成23年度1月 2年生英語統一テスト 結果

■2012年1月 CASEC2年生 全学・学部別集計

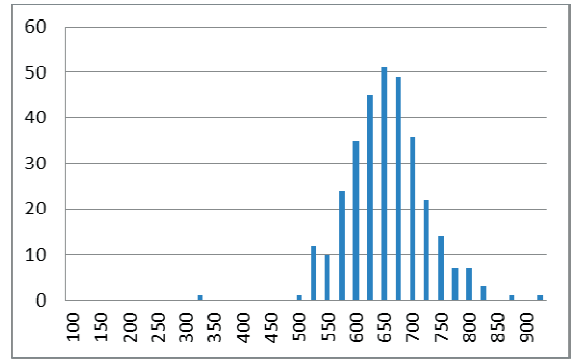
※グラフの読み方

例) totalメモリ「500」に位置する棒グラフが意味することは、「476点～500点」のスコア取得者の人数をあらわしています。

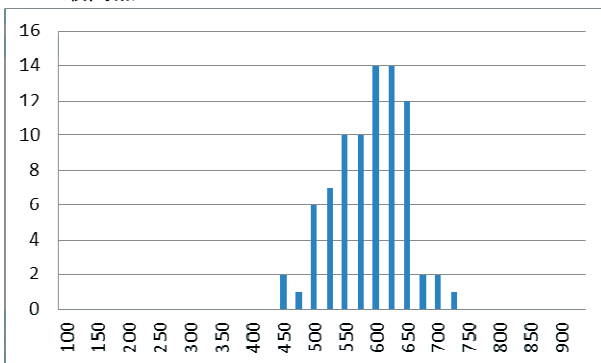
受験対象者: 2年生(全学部)
 受験者総数: 554
 平均点: 601
 最高点: 950



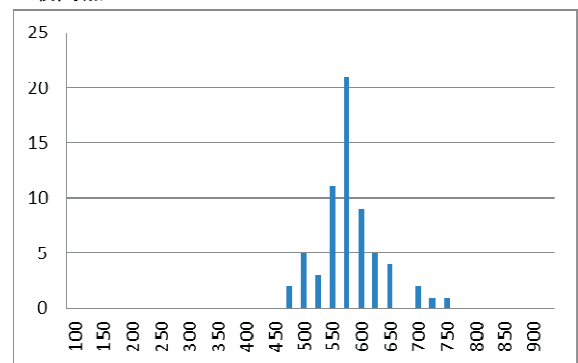
受験対象者: 外国語学部
 受験者総数: 319
 平均点: 643
 最高点: 950



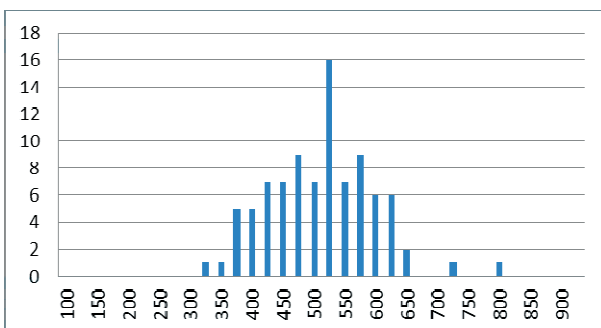
受験対象者: 日本文化学部
 受験者総数: 81
 平均点: 577
 最高点: 718



受験対象者: 教育福祉学部
 受験者総数: 64
 平均点: 569
 最高点: 726



受験対象者: 情報科学部
 受験者総数: 90
 平均点: 500
 最高点: 787

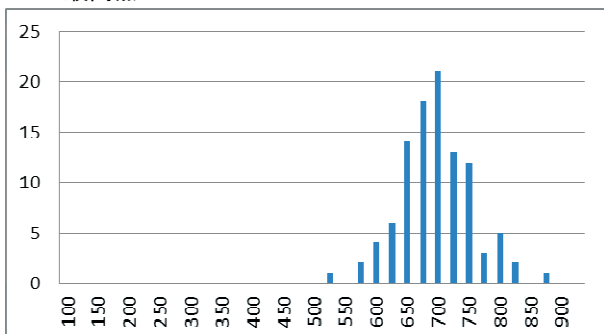


■2012年1月 CASEC2年生 外国語学部 学科・専攻別集計

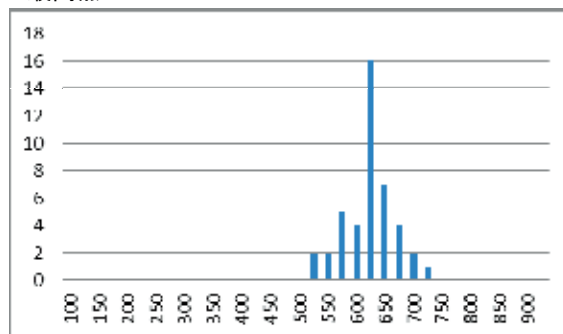
※グラフの読み方

例) totalメモリ「500」に位置する棒グラフが意味することは、「476点～500点」のスコア取得者の人数をあらわしています。

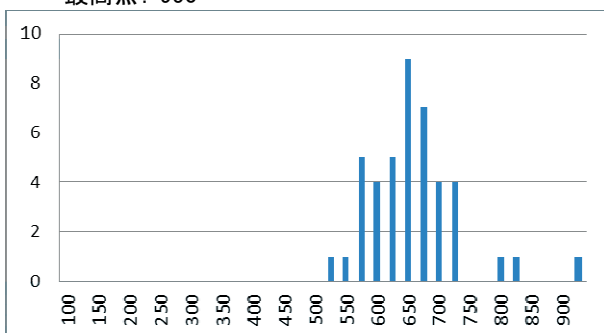
受験対象者: 英米学科
 受験者総数: 102
 平均点: 686
 最高点: 854



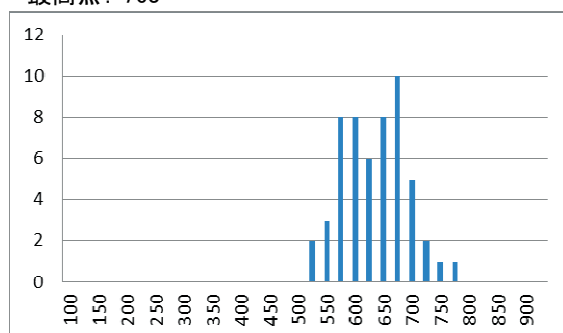
受験対象者: フランス語圏専攻
 受験者総数: 43
 平均点: 612
 最高点: 702



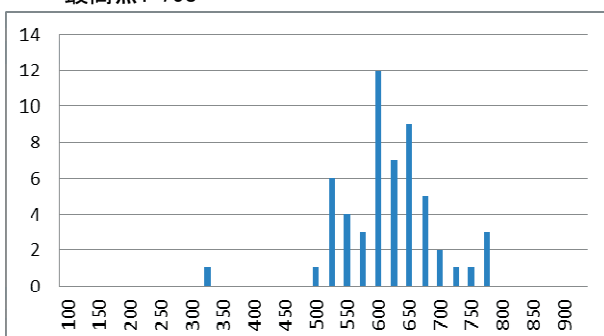
受験対象者: ドイツ語圏専攻
 受験者総数: 43
 平均点: 646
 最高点: 950



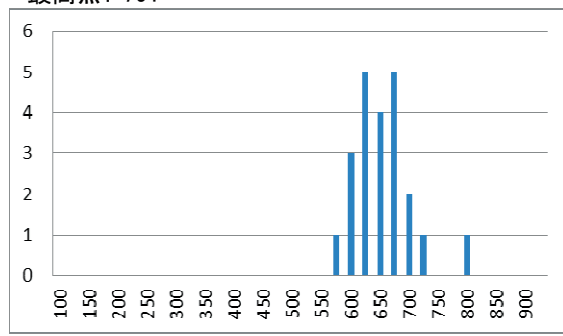
受験対象者: スペイン語圏専攻
 受験者総数: 54
 平均点: 622
 最高点: 763



受験対象者: 中国学科
 受験者総数: 55
 平均点: 603
 最高点: 758



受験対象者: 国際関係学科
 受験者総数: 22
 平均点: 645
 最高点: 791

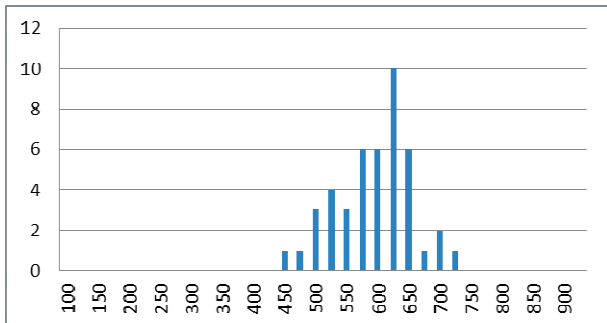


■2012年1月 CASEC2年生 日本文化学部 学科別集計

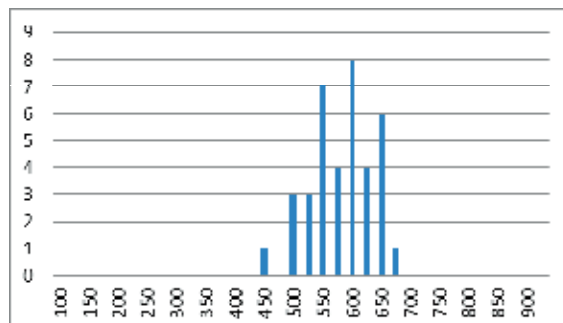
※グラフの読み方

例) totalメモリ「500」に位置する棒グラフが意味することは、「476点～500点」のスコア取得者の人数をあらわしています。

受験対象者：国語国文学科
 受験者総数：44
 平均点：583
 最高点：718



受験対象者：歴史文化学科
 受験者総数：37
 平均点：570
 最高点：660

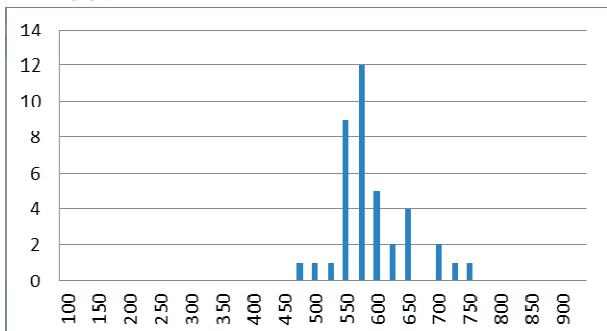


■2012年1月 CASEC2年生 教育福祉学部 学科別集計

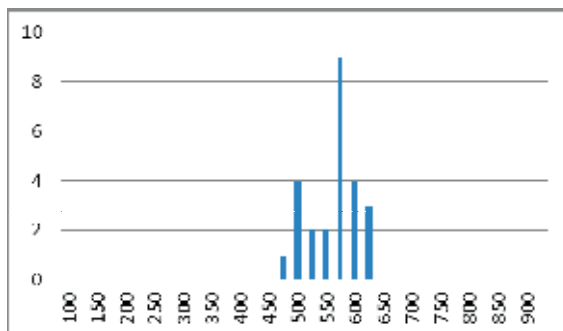
※グラフの読み方

例) totalメモリ「500」に位置する棒グラフが意味することは、「476点～500点」のスコア取得者の人数をあらわしています。

受験対象者：教育発達学科
 受験者総数：39
 平均点：580
 最高点：726



受験対象者：社会福祉学科
 受験者総数：25
 平均点：553
 最高点：625



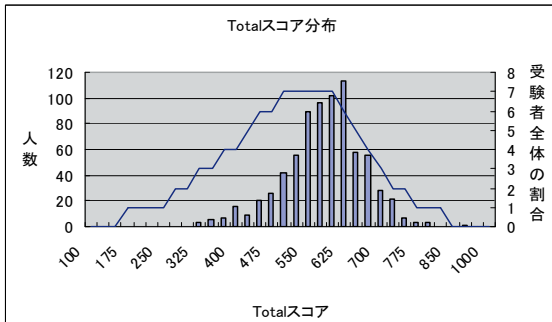
[資料 3] 平成24年度4月 1年生英語統一テスト 結果

■2012年4月 CASEC1年生 全学・学部別集計

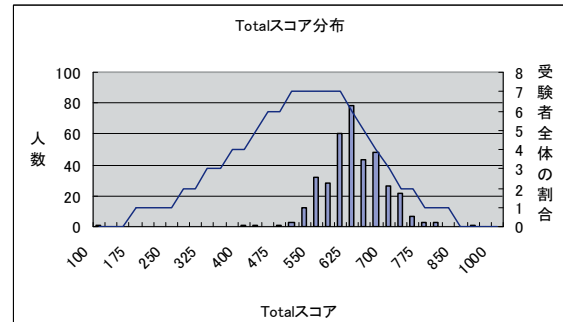
※グラフの読み方

例) totalメモリ「500」に位置する棒グラフが意味することは、「476点～500点」のスコア取得者の人数をあらわしています。

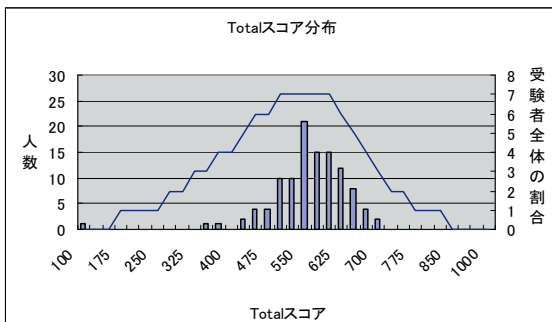
受験対象者：1年生
 受験者総数：763
 平均点：572
 最高点：874
 標準偏差：82



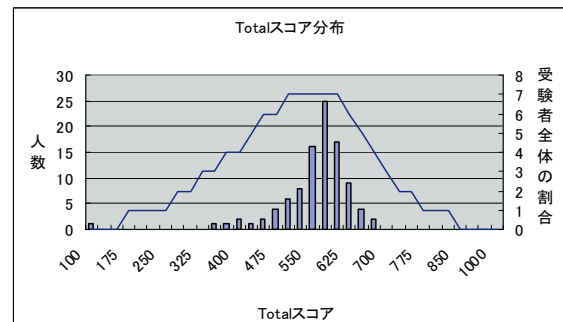
受験対象者：外国語学部
 受験者総数：369
 平均点：619
 最高点：874
 標準偏差：61



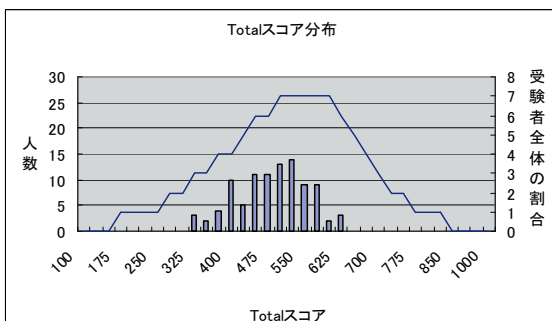
受験対象者：日本文化学部
 受験者総数：109
 平均点：552
 最高点：694
 標準偏差：66



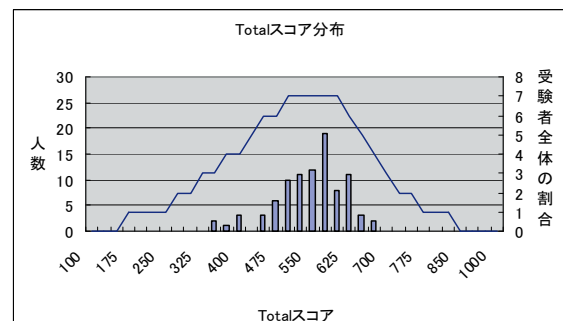
受験対象者：教育福祉学部
 受験者総数：98
 平均点：549
 最高点：675
 標準偏差：60



受験対象者：情報科学部
 受験者総数：96
 平均点：473
 最高点：621
 標準偏差：71



受験対象者：看護学部
 受験者総数：91
 平均点：535
 最高点：672
 標準偏差：69

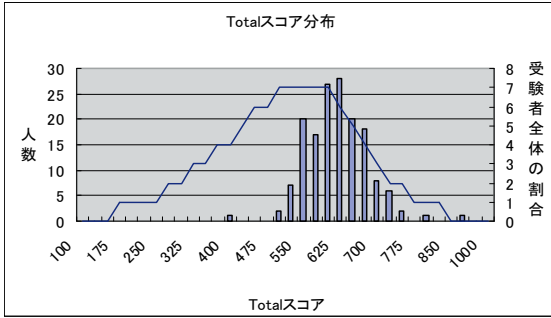


■2012年4月 CASEC 外国語学部 学科・専攻別集計

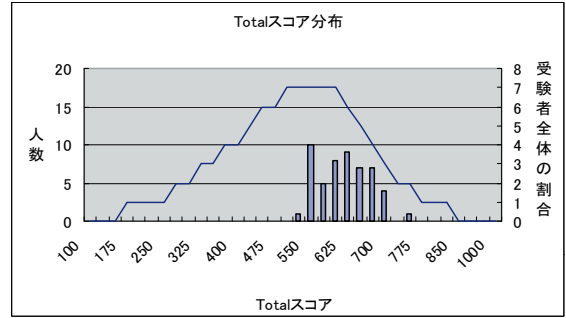
※グラフの読み方

例) totalメモリ「500」に位置する棒グラフが意味することは、「476点～500点」のスコア取得者の人数をあらわしています。

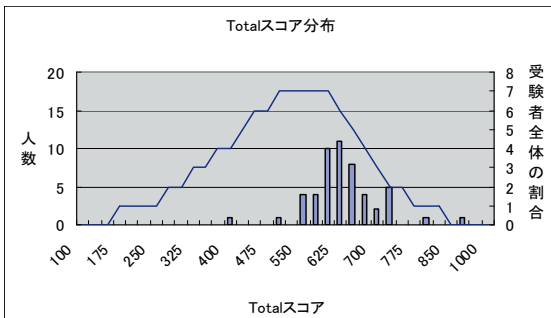
受験対象者: 外国語学部 ヨーロッパ学科
 受験者総数: 158
 平均点: 607
 最高点: 874
 標準偏差: 62



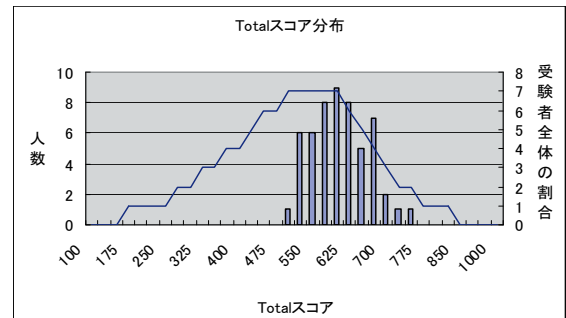
受験対象者: 外国語学部 ヨーロッパ学科 フランス語圏専攻
 受験者総数: 52
 平均点: 607
 最高点: 736
 標準偏差: 52



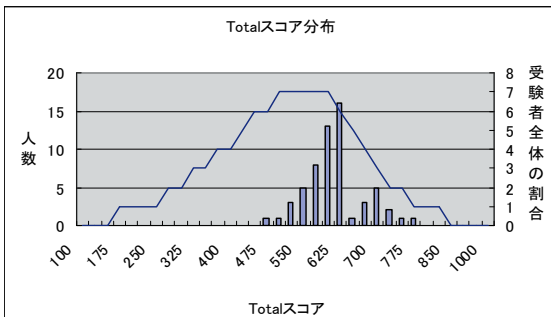
受験対象者: 外国語学部 ヨーロッパ学科 スペイン語圏専攻
 受験者総数: 52
 平均点: 618
 最高点: 874
 標準偏差: 73



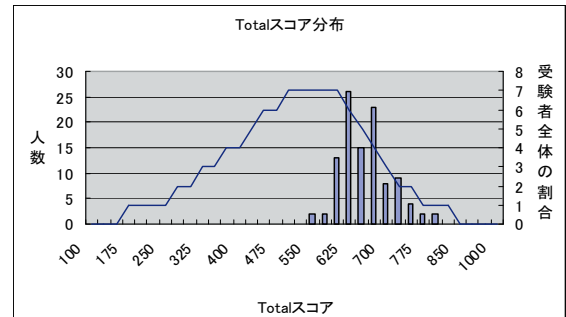
受験対象者: 外国語学部 ヨーロッパ学科 ドイツ語圏専攻
 受験者総数: 54
 平均点: 595
 最高点: 731
 標準偏差: 58



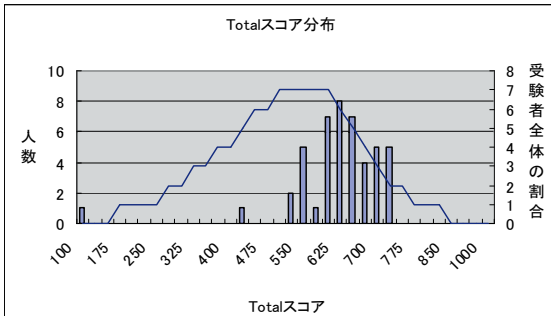
受験対象者: 外国語学部 中国学科
 受験者総数: 60
 平均点: 601
 最高点: 759
 標準偏差: 59



受験対象者: 外国語学部 英米学科
 受験者総数: 106
 平均点: 647
 最高点: 787
 標準偏差: 50



受験対象者：外国語学部 国際関係学科
 受験者総数：45
 平均点：618
 最高点：713
 標準偏差：63

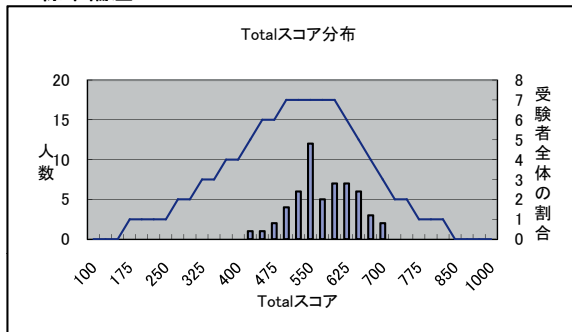


■2012年4月 CASEC 日本文化学部 学科別集計

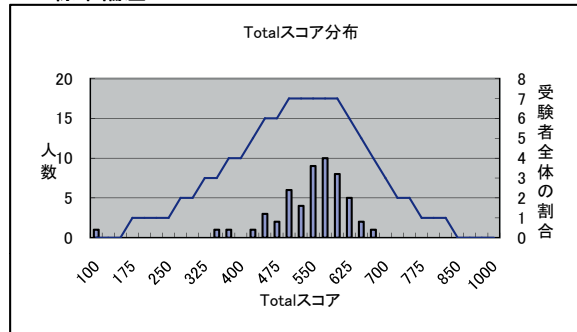
※グラフの読み方

例) totalメモリ「500」に位置する棒グラフが意味することは、「476点～500点」のスコア取得者の人数をあらわしています。

受験対象者：日本文化学部 国語国文学科
 受験者総数：56
 平均点：566
 最高点：694
 標準偏差：63



受験対象者：日本文化学部 歴史文化学科
 受験者総数：53
 平均点：537
 最高点：655
 標準偏差：67

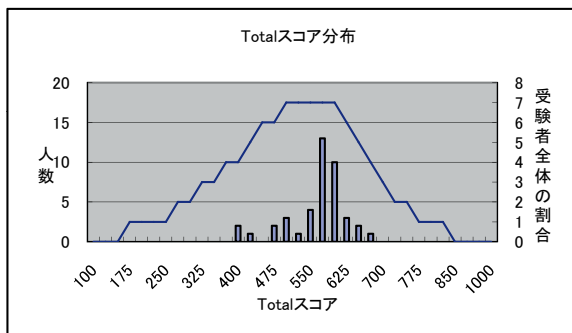


■2012年4月 CASEC 教育福祉学部 学科別集計

※グラフの読み方

例) totalメモリ「500」に位置する棒グラフが意味することは、「476点～500点」のスコア取得者の人数をあらわしています。

受験対象者：教育福祉学部 教育発達学科
 受験者総数：42
 平均点：553
 最高点：600
 標準偏差：59



受験対象者：教育福祉学部 社会福祉学科
 受験者総数：56
 平均点：546
 最高点：675
 標準偏差：60

